

あい しん かく ら
愛新覚羅家の人びと

あいよっていのちをなす
—相依為命—



関西学院大学博物館

目次

ごあいさつ	3
<small>あいしんかくら ふけつ</small> 愛新覚羅溥傑家関係資料の受贈について 河上繁樹	4
愛新覚羅溥傑と嵯峨浩の結婚—その歴史的背景— 高岡裕之	6
資料紹介『慧生育児日記』 木場貴俊	8
図版	
愛新覚羅家のあゆみ	11
コラム 文化大革命・日中国交回復 三宅康之	33
愛新覚羅家の人びと	41
(参考) 溥傑書現代口語訳	51
資料リスト	53
参考文献	55

凡例

- ・本図録は2015年5月18日(月)～7月18日(土)まで開催する展覧会「あいしんかくら 愛新覚羅家の人びとと「あいよつていのちをなす 相依 為命」」の図録である。
- ・出品資料は、一部福永燐生氏からの寄託を除き、すべて関西学院大学の所蔵である。
- ・資料番号は展覧会場の資料番号と一致するが、陳列順序とは必ずしも一致しない。
- ・会場に展示した資料のうち、参考出品は図録に掲載していない。
- ・図版ページに掲載した資料情報は、資料番号、資料名称、作者あるいは出版者、年代、寸法(縦×横cm)の順に記した。なお写真画像は、編集を施しているため寸法を記していない。
- ・資料翻刻の校訂については()に入れ、傍注とした。脱字は(一脱カ)と付した。
- ・資料解説は、木場貴俊(関西学院大学博物館学芸アシスタント)が担当した。
- ・写真撮影および画像編集は、深井純(元関西学院大学博物館教育技術主事)が担当し、高木香奈子(関西学院大学博物館学芸員)、木場貴俊、樋口温子(関西学院大学博物館学芸アシスタント)、福本有寿子(元関西学院大学博物館学芸アシスタント)が補助した。
- ・本書のブックデザインは秋山尚美(関西学院大学博物館)が担当した。
- ・本書の編集および構成は、高木香奈子と木場貴俊、樋口温子が担当した。

本書に掲載された写真および記事を無断で転載することを禁じます。

本書に掲載した作品について、著作権所有者に連絡をとっております。お気づきの方は関西学院大学博物館までご連絡ください。

ごあいさつ

関西学院大学(博物館開設準備室)は、2013年10月に西宮市在住の福永^{こせい}媯生さんより愛新覚羅^{あいしんかくら}溥傑^ふ家に関する手紙や写真、書画などの貴重な資料を受贈しました。愛新覚羅溥傑(1907-94)は、中国・清朝最後の皇帝^{ふぎぎ}溥儀の夷弟で、「満州国」軍人となり、昭和天皇の遠縁にあたる嵯峨^{ひろ}浩(1914-87)と結婚し、二女に恵まれました。媯生さんはその次女です。

日本の敗戦後、溥傑はソ連・中国に収監され、媯生さんは母とともに中国大陸を流転した末に日本へ引き揚げました。それから16年が経った1961年に、ようやく父との再会を果たしました。

今回の展覧会では、時代の波に翻弄されながらも、日中友好に尽力した一家の物語を二つのテーマのもとにご覧いただきます。

一つは「愛新覚羅家のあゆみ」。溥傑一家が過ごしてきた日々は、戦中・戦後という激動の時代でした。政治目的で画策された溥傑と浩の結婚、日本と満州という「国際」結婚であったが故に訪れた敗戦後の「流転」の日々、離れ離れになった家族の再会、そして日中国交正常化…。そうした状況のなかで愛を育んできた家族の想いを展示資料からうかがいます。

もう一つは「愛新覚羅家の人びと」。溥傑・浩夫妻、二人の子である慧生^{えいせい}(1938-57)・媯生(1940-)それぞれの活動に焦点を当て、ゆかりの品々を紹介します。4人の活動は、時には離れ離れになった家族の交流を生み、時には日本と中国のかけ橋となりました。

副題の「相依為命(あいよっていのちをなす)」は、溥傑がよく口にした言葉で「時代は変わっても、相手を思いやる気持ちがあれば生きていける」という意味が込められています。本展覧会がさまざまな人びとを思いやる機会になれば幸いです。

関西学院大学博物館



愛新覺羅家のあゆみ

溥傑と浩（年未詳）

1937年 溥傑・浩結婚

1 溥傑のお見合い写真

Fuketsu's Photograph for a Marriage Arrangement 1936年頃

「最後の皇弟」愛新覺羅溥傑は、光緒33（明治40・1907）年清朝第11代皇帝光緒帝の弟載灃の第2子として生まれた。兄の溥儀は、西太后の命で第12代宣統帝となったが、数年後退位し、清朝は滅亡した。溥儀は「清朝の復辟」のため軍事の重要性を知り、臣下として接していた溥傑や婉容皇后の弟潤麒を日本に派遣し、軍事を学ばせた。そして、溥傑がまだ学習院に通っていた昭和7(1932)年3月1日、「満州国」建国宣言が行われ、溥儀は執政に就任した。



2 浩のお見合い写真

Hiro's Photograph for a Marriage Arrangement 1936年頃

「流転の王妃」として知られる愛新覺羅浩は、大正3(1914)年3月16日、嵯峨実勝・尚子夫妻の長女として生まれた。実勝の父公勝は侯爵、母南加は明治天皇の生母中山慶子の姪であり、嵯峨家は皇室に近い公卿華族だった。



愛新覺羅家の人びと

慧生と嫿生（年未詳）

溥傑



燕都啓翼纔丁午江戶終程未及昏
 計歲已踰三十稔④ 離懷奚罄万千言
 含情目湛荆釵淚 疑夢身敲愛女門
 悔不當初傷爾姊 喜堪今此撫吾孫
（親之）
 向西引新中國 難報春暉寸艸恩
 東遊深味新生樂 此旅弥諧再世恩
 下榻奉親依愛女 含飴繞膝弄諸孫
 雖慚隔世遲參墓 却慰頻年倚倚門
 更叶老妻婦省頻 闔家相對暫忘言
 歲在一九七五季甲寅正月上澣
 錄重遊扶桑誌喜二律即貽福永親
 家留念

愛新覺羅溥傑（印）

44 書「重遊扶桑誌喜」 | 溥傑

“Revisit to Japan” by Fuketsu

1975年

148.1×39.5cm

昭和49(1974)年12月に再び日本を訪れた際の喜びを詠んだもので、福永家に贈った(52頁に現代口語訳)。

資料リスト

No.	資料名	作者 / 出版者	年代	寸法 (縦 × 横 cm)	備考
愛新覺羅家のあゆみ					
1	溥傑のお見合い写真		1936年頃		
2	浩のお見合い写真		1936年頃		
3	溥傑と浩(結婚式直前)		1937年		
4	溥傑・浩の結婚披露宴案内状		1937年	17.1×11.3、 16.1×10.9	
5	スクラップブック		1937年-	全長31.1×48.7	
6	『婦人倶楽部』「満州国皇帝陛下の御弟君 溥傑氏御夫妻の新婚御生活画報」	講談社	1937年	22.1×13.7	
7	稲毛での生活		1937年頃		
8	新京溥傑邸で過ごす溥傑一家		1938年		
9	溥傑一家		1938年頃		
10	新京の主要な建築物 (絵葉書『北滿の要衝 新京の印象』より)	大正写真工芸所	年未詳	各9.0×14.0	
11	『世界画報』11-5号 満州国皇帝陛下御来訪記念号	国際情報社	1935年	30.5×22.5	
12	『主婦の友』「慧生姫を御中心に 満州皇弟溥傑氏御夫妻の御団欒画報」	主婦の友社	1938年	22.3×13.7	
13	『慧生育児日記』		1938-39年	20.0×16.0	
14	燐生(誕生直後)		1940年		
15	慧生と燐生		1943年以前		
16	慧生宛て浩の書簡		1945年	25.9×18.3	福永燐生氏蔵(寄託)
17	「流転」の日々の燐生		1946年頃		
18	横浜市日吉で過ごす浩母娘		1948年頃		
19	溥傑宛て浩の書簡		1954年	14.8×21.5	福永燐生氏蔵(寄託)
20	慧生(学習院高等科の頃)		1953-56年頃		
21	溥傑宛て浩の書簡		1958年	23.0×18.0	福永燐生氏蔵(寄託)
22	『流転の王妃』刊行当時の浩		1959年		
23	『流転の王妃』刊行記念会		1959年		
24	映画『流転の王妃』メイキング		1959年		
25	『流転の王妃 満州宮廷の悲劇』	愛新覺羅浩/ 文藝春秋新社 (現 文藝春秋)	1959年	19.4×13.5	
26	浩と梅原龍三郎		年未詳		
27	映画『流転の王妃』写真帳	大映東京撮影所	1959年	28.7×24.0	
28	広州へ向かう浩と燐生		1961年		
29	家族旅行		1961年		
30	集合写真(北京護国寺溥傑宅の応接間にて)		1961年		
31	記念写真(周恩来主催の午餐会にて)		1961年		
32	書「重逢」	溥傑	1961年	34.1×22.6	福永燐生氏蔵(寄託)
33	署名色紙		1961年	27.3×24.3	福永燐生氏蔵(寄託)
34	燐生宛て浩の書簡		1967年	18.8×26.5	福永燐生氏蔵(寄託)
35	福永健治と燐生		1968年		
36	福永健治・燐生の結婚披露宴案内状		1968年	各15.9×10.9	
37	福永健治・燐生の披露宴8ミリフィルム		1968年	直径9.3	
38	溥傑の名刺		1930-80年頃	各9.1×5.4	
39	浩のパスポート		年未詳	全長12.7×18.0	
40	TV放送の発言全文	浩	1972年	26.6×19.9	
41	書「重訪扶桑詩」	溥傑	1974年	23.3×26.2	
42	中山神社				
43	家族写真		1980年頃		

愛新覚羅家の人びと

44	書「重遊扶桑誌喜」	溥傑	1975年	148.1×39.5	
45	溥傑自作の写真立て	溥傑	1954-59年頃	全長 16.4×22.9	
46	溥傑の手帳		1936年	全長 8.2×11.5	
47	『溥傑自伝』	愛新覚羅溥傑 / 河出書房新社 (日 本語初版・改訂版) / 中国文史出版社 (中国語版)	(日本語版) 1995年 2011年 (中国語版) 1994年	(日本語版) 19.4×13.7 (中国語版) 20.1×14.0	
48	書「寿」2点 和歌「ふたくにの とわのむすびの かす がいに なりてはてたき 我がいのちかな」	書 / 溥傑 和歌 / 浩	書1975年 和歌1978年	全長 25.5×92.0	
49	和歌短冊	浩	1975年	62.5×22.5	
50	油絵 (無題)	浩	年未詳	73.0×53.5	
51	『食在宮廷』	愛新覚羅浩 / 婦人画 報社 (現ハースト 婦人画報社)	1961年	22.4×15.8	
52	『流転の王妃の昭和史』(中公文庫版) 校正刷り		2012年頃	21.1×29.7	
53	『流転の王妃の昭和史』	愛新覚羅浩 / 主婦と生活社、新潮 社、中央公論新社	1984年、 1992年、 2012年	19.4×13.4 15.0×10.6 15.0×10.6	
54	慧生のバイオリン		年未詳	53.4×18.1	
55	バイオリンを持つ慧生		年未詳		
56	幹子宛て慧生の書簡		年未詳	15.3×21.2	福永媯生氏蔵 (寄託)
57	慧生の中国語学習ノート		年未詳	25.1×35.5	
58	水彩画 (無題)	慧生	1950年頃	58.2×80.3	
59	慧生 (学習院高等科の頃)		1953-56年頃		
60	媯生 (日本国籍を取得した頃)		1962年頃		
61	『流転の王妃 愛新覚羅溥傑・浩 愛の書簡』	福永媯生 / 文藝春秋	2011年	19.4×13.8	
62	『流転の王妃 愛新覚羅溥傑・浩 愛の書簡』 校正刷り		2011年頃	21.1×29.7	
63	『愛新覚羅溥傑・浩書画集』	福永媯生主編 / 中央公論事業出版	2014年	30.5×22.0	

謝辞

本展覧会の開催ならびに本図録の編集にあたり、下記の方々から多大なご協力を賜りました。
記して深く感謝申し上げます。(敬称略)

福永燭生

河出書房新社

主婦と生活社

主婦の友社

新潮社

中央公論事業出版

中央公論新社

ハースト婦人画報社

文藝春秋

梶山弘子 (一般社団法人 小林正樹監督遺託業務世話人会・芸游会)

河内厚郎

京マチ子

能勢正一 (絃楽器 NOSE)

福本秀子

宮地 由 (早稲田大学演劇博物館)

本岡典子 (ノンフィクション作家)

矢崎伸治 (NHK 大阪放送局)

あい しん かく ら
愛新覚羅家の人びと
あいよついでいのちをなす
—相依為命—

2015年5月18日発行

編集・発行：関西学院大学博物館

〒662-8501

西宮市上ヶ原一番町 1-155

印刷・製本 有限会社仁川印刷所

©KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM 2015